

学校だより  
7月号

# みんなが笑顔になる学校！



## 変わりゆく季節を感じさせたい

もう7月なんですね。最近では運動会の練習が始まる5月頃からずっと暑い毎日が続いていて、四季の変化を明確に感じられないのですが、プール水泳が始まり夏休みのカレンダーを目にすると、ようやく夏が来たと実感します。エアコンが完備された教室は不快感を感じることも少なくなりましたが、雨の中傘をさして重い荷物を持ちながら歩いてくる子どもたちを見ていると、季節を感じるこんな体験も必要かもしれないと思ったりもします。



## そうだ、読書をしよう！

雨が多いこの季節は、子どもたちが外で遊べないのが残念ですがそんな時こそ室内でゆっくりと読書を楽しんでほしいと思います。今年度は「読む力」を高めるために、水曜日には全校で読書を行ったり、読解力を高める問題に取り組んだりもしています。今後は蔵書数も更に増やしたいと思っています。



子どもを読書好きにするには、大人が楽しそうに読書をする姿を見せることだそうです。私もかつての子育てを思い出しながら、今少し後悔しているところです。

## 「みんなが笑顔になる学校！」を実現するために

いつも考えるのが、学校目標がどのくらい達成できているのか、実現するにはどうすれば良いのかということ。今日は、先日集会で子どもたちに話した内容を簡単に紹介します。

今から2500年ほど前の中国に「孔子」という偉い人がいました。彼が残した言葉の中に「己の欲せざる処を人に施すことなかれ」というものがあります。その意味は、「自分がされて嫌なことは、ひとにはしてはいけない。」というものです。私たちが普段何気なくしている行動や発言は、時として誰かを傷つけることがあります。大切なことは、誰にでもその可能性があるということに気づくこと、そして行動や発言の際には「自分だったらどう思うのか？」と一度考えてみることです。そこで、自分がされて嫌だと思ったら人にはしないようにする。またこのことを逆に考えると、「自分がしてもらって嬉しかったことはみんなにもする。」のが更に良い行動と言えます。どんな言葉をかけてもらったら、みんなは嬉しいですか？

この2つのことを一人ひとりが意識することで、少しずつ笑顔が増え、それが「みんなが笑顔になる学校」に繋がるのだと私は思います。「みんなが笑顔になる学校！」は誰かが作ってくれるものではありません。それを作っていくのは、みなさん一人ひとりなのです。

2500年という時を超えて、今なお多くの人々の心に響く孔子の言葉が

子どもたちの心にも伝わりますように

